

1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

相手の気持ちを考えて行動し、互いに信頼し合い、友情を深めていこうする態度を育てる。

◆評価

相手の気持ちを考えて行動しようとする意識を高めることができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（友情、信頼）

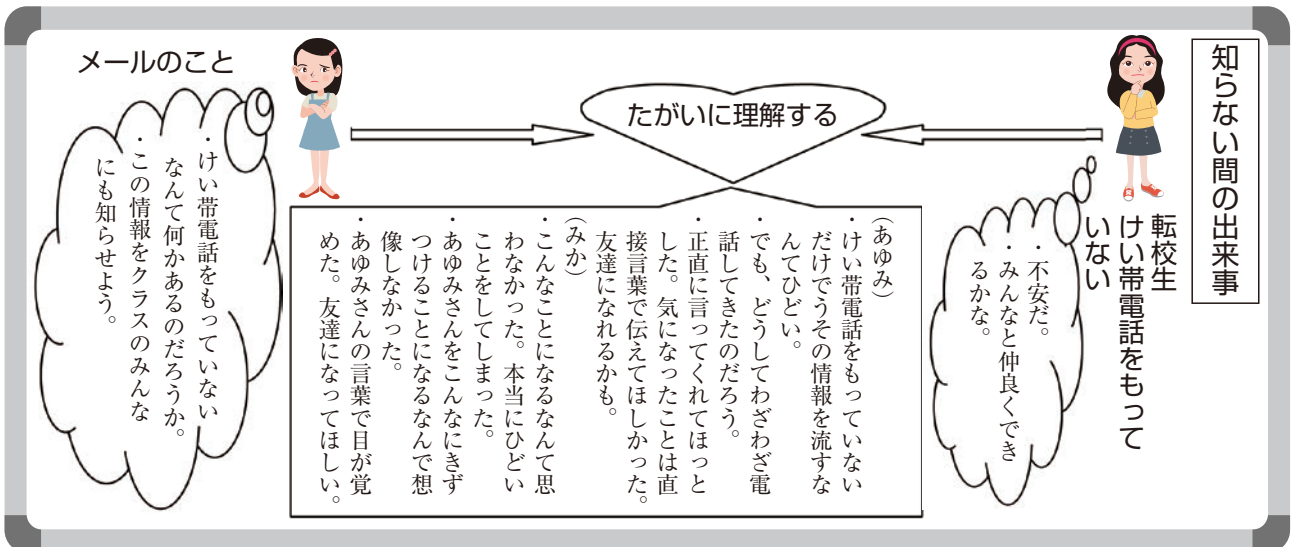
◆主な使用教材

・「知らない間の出来事」（文部科学省『私たちの道徳』小学校5・6年）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達との関わりについて生活経験を想起する。 ◇ あなたにとって、友達とはどんな存在ですか。	○ 『私たちの道徳』73ページを読み、道徳的価値への問題意識をもたせる。
展開 30分	2 教材「知らない間の出来事」を読み、話し合う。 ◇ あゆみ、みか、クラスみんなについてどのような感想をもちましたか。 ◇ みかは、どんな気持ちからクラスみんなにメールを送ったのでしょうか。 【中心発問】電話で話しているみかとあゆみの気持ちを考えましょう。	○ 何気なく送ったメールが大変な誤解を招いてしまうことがあることに気付かせる。 ○ あゆみとみかが、電話で話した内容や、これからの二人の関係について考えさせる。
終末 10分	3 今日の学習を振り返り、これからの友達との付き合い方を考える。	○ 『私たちの道徳』74ページの「友達との付き合い方について大切にしたいこと」を記入させる。

板書例



教材文

知らない間の出来事

(あゆみの回想)

(九月一日)
いよいよ、新しい学校での生活が始まった。父の転勤とはいえ転校は不安だったが、自己しようかいの後、みんなから拍手をもらい、これから楽しくやっていけそうな気がした。

「ねえ、あゆみさん。私たちなんだか仲良しになれそうな気がするの。その訳は後でゆっくり話すね。で、早速だけど、これから一緒に遊ばない。時間と場所は後でメールするから、携帯電話のメールアドレス教えて。」

「こちらこそ、よろしく。でも、ごめんね。私、携帯電話…、持っていないの。その代わり、うちの家の電話番号、教えるから。」
「あ、そうです。メモ用紙に家の電話番号を書いてわたした。みかさんは、メモ用紙を受け取ると、がっかりした様子で、

(九月二日)

新しい学校での二日目。教室に入ると、みんなの視線が何だか自分に向けられて、ことに気付いた。思い切つてどなり席の男子に聞いてみた。

「ねえ、なんでみんなの私の方を見ているんだろう。」
「それはね、たぶん、あゆみさんのことが書かれたメールのことだと思っよ。」

「えっ、何で書いてあったの。」
「今度転校してきたあゆみさんは、前の学校で仲間外れになっていたので、この学校に転校してきたんだって。ねえ、それ本当なの。」

私の心は、おどろきでいっぱいになった。
「どうして私がそうなるって言うの。このままだと本当に仲間外れになってしまうの。」

私は、どきどきする胸の鼓動を聞きながら、帰りの会場で発言した。
「私は、前の学校で仲間外れにされたりしていません。みんなと仲良しして、根も葉もないことをメールで勝手に流されたりして、とても悲しいです。みんながメールのことを本気にしてしまおうといやなので、勇気を出して言いました。」

帰りのあいさつの後、先生が声をかけてくれたが、わき目もふらず家に帰った。

「あゆみに電話よ。」という母の声が聞こえてきたのは夕方四時ごろだった。

(みかの回想)

(九月一日)

二期が始まった日、転入生をむかえた。転入したあゆみさんは自己しようかいでこんなことを言っていた。
「私は、漫画が好きで、読むのもかくのも両方好きです。特に、最近は漫画をかくことに夢中です。早くみんなと友達になりたいです。よろしくお願ひします。」

私はびびりた。それは私の趣味と全く同じだったからだ。私も漫画が大好きで、最近は、かくほうに夢中だった。
「よし、あゆみさんと友達になって、漫画をかくて遊ぼう。」

まずは、メールアドレスを聞いて、それから遊ぶ時間と場所を決めようと思ひ、あゆみさんに声をかけた。
私は、再びびびりた。あゆみさんは、携帯電話を持っていなかった。せつかく、漫画の話がでると思つたのに……。家の電話番号が書かれたメモ用紙は、小さく丸めて、ポケットにつこんだ。
もしかして、あゆみさんが携帯電話を持っていないという事は、友達と連絡できないということ……。という事はないか、などと思ひ、

(九月二日)

朝、教室に入るとクラスみんながあゆみさんのことをうわさしている声が耳に入った。
授業も終わり、帰りの会で、いきなりあゆみさんが手を挙げて言い出した。それは、前の学校の根も葉もないことをメールで流されたということだった。なんで、そんなことがメールで流れたのだろう。

「さっきのあゆみさんの話だけど、どんなことが書いてあったの。」
「私のメールには、『今度の転校生は、携帯を持っていないから、仲間外れにされて、この学校に入ってきたらしい。』と、書いてあったよ。」

私は、それを聞いて、はっとした。まがいない。それは、私が書いたメールがいつの間にかこんなことになっていたので。私の思いこみがこんなことになってしまったとは……。

頭の中は、あゆみさんのことについていっぱいになった。
私が、電話番号の書いてあった紙をきれいにし、あゆみさんの家に電話をしたのは夕方だった。

文部科学省『私たちの道徳』小学校五・六年

【資料等】

↓中心発問等で使用するワークシート

↓導入・終末で使用する『私たちの道徳』（73、74ページ）

ワークシート: (小学校) 道徳科学習ワークシート. 電話で話しているみかとかあゆみの気持ちを考えよう. 今日学習を振り返りましょう.

資料: 小学6年生に聞きました. 学校で友達に会うのは楽しいと思ひますか. 友達は成長のおせい植物である. 友達が友情という名の花をさかす前に...

1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

誰に対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、いじめを許さない公正、公平な態度を育てる。

◆評価

いじめは許さないという強い気持ちを持ち、誰に対しても公平な態度で接しようとする意識をもつことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

◆主な使用教材

・「ユリのうしろ姿」（東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成28年3月）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達との関わりについて、今までの経験を振り返る。 ◇ 今まで、友達にされてうれしかったことはどんなことですか。そのとき、あなたはどうしましたか。	○ 学級の実態によっては、事前アンケートをとり、紹介する。
展開 35分	2 教材「ユリのうしろ姿」を読み、話し合う。 ◇ 声を掛けてもよそよそしい様子の真理子とさおりの態度に、「私」はどんなことを思っただでしょう。 【中心発問】泣き出した「私」を見つめているユリの気持ちや思いについて考えましょう。 3 『私たちの道徳』134ページのワークを行い、自分自身の日常生活での行動を振り返る。	○ 真理子、さおり、私、ユリ、クラスの友達、それぞれの思いや立場について考えさせる。 ○ これまでのユリの言動も振り返らせ、誰に対しても公正、公平に接することについて考えさせる。
終末 5分	4 『私たちの道徳』135ページの「いじめている君へ」を読み、本時の学習で気付いたことをワークシートに書く。	○ 『私たちの道徳』135ページの「いじめている君へ」を読み、本時の学習を振り返らせる。

板書例

○いじめを許さず、公正、公平に接するために

○「私」を見つめる「ユリ」

- ・いつも、いっしょにいた三人なのに、何かあったのだろうか。
- ・気に入らないことがあると、仲間外れにするなんて許せない。
- ・私も、いじめられている人の気持ちがよくわかる。このまま知らん顔することはできない。

私が、何か悪いことをしたのかな。
私は、あの時、正しいことを言っただけなのに、どうしてだろう。
仲の良い友達と思っていたのに。

ある日、とつ然、仲間外れにされる。

ユリのうしろ姿